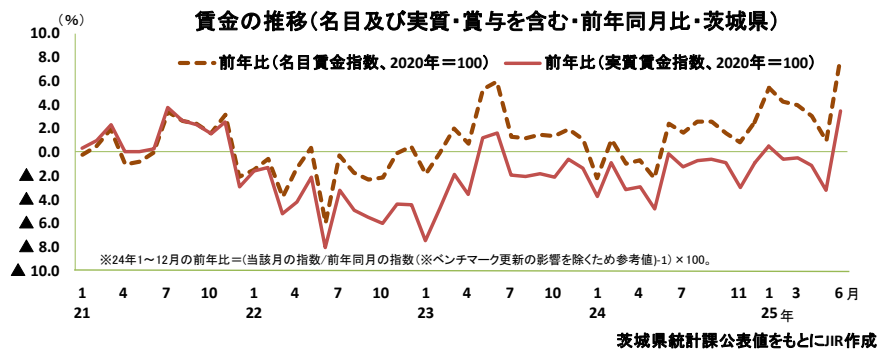


県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している

<今月のポイント>

- 県内経済は、生産活動や住宅投資などに弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直していることから、総合判断は前月の判断を据え置いた。
- 各項目の判断も据え置き。個人消費は、物価高による消費マインドの低下や猛暑の影響等を受けつつも、供給サイドの販売動向は総じてみれば堅調であることから、「一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している」との判断を据え置いた。
- 賃金指数（賞与を含む）をみると、25年6月は名目（前年同月比7.8%増）、実質（同3.5%増）ともに前年水準を大きく上回った。もっとも上昇の要因は、今夏好調であった特別給与（賞与）の押上げに依るところが大きい。物価上昇が続く中で、実質賃金が安定的にプラスに転じるには、もう少し時間を要するとみられる。
- 先行きは、トランプ通商政策による影響の動向に加え、為替や金利などの金融市場の動向、さらに物価高や賃上げ、企業の価格転嫁の推移等に注意する必要がある。



<基調判断・天気図>

	基調判断				
	前月からの 変化	2025年9月調査	25年7月調査	25年8月調査	25年9月調査
総合判断	➡	一部に弱さがみられるものの、総じて みれば持ち直している			
生産活動	➡	弱い動きとなっている			
設備投資	➡	持ち直している			
住宅投資	➡	弱めの動きとなっている			
公共投資	➡	持ち直している			
個人消費	➡	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している			
雇用情勢	➡	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況			

◆基調判断に添えた矢印は方向感を、天気図は水準を示します。

◆基調（動向）判断の表現方法（イメージ）は、「各指標の動向判断の推移」6頁の図の通り。

生産は弱い動きとなっている

7月の鉱工業生産指数（2020年＝100、季節調整値※）は102.3、前月比1.1％減と3か月振りに低下した。業種別の内訳をみると、電気機械（同13.8％増）、非鉄金属（同17.2％増）、汎用・業務用機械（同5.8％増）、電子部品・デバイス（同7.6％増）等が上昇し、化学（同16.2％減）、生産用機械（同21.6％減）、輸送機械（同3.9％減）、金属製品（同1.1％減）、窯業・土石（同0.4％減）等が低下した。

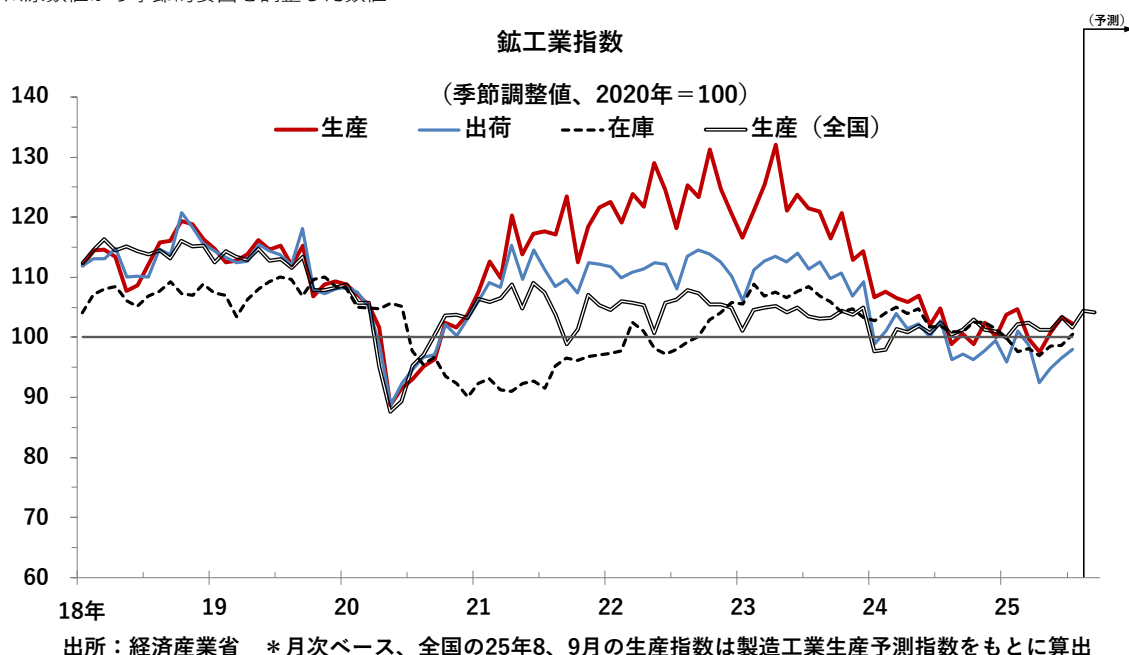
自動車部品関連業者へのヒアリング（9月）では、7-9月期の生産・受注動向について「減産になると思っていたが、現在のところ変更なし」、「生産実績は計画並み」など、トランプ通商政策による受注への大きな影響はみられないものの、先行きについては引き続き「不透明感が強い」など慎重な声が多数聞かれた。

その他、企業ヒアリング（9月）では「半導体部品の生産実績は、海外市場で生成AIやデータセンター向けの需要が高まっているため、計画を上回っている」（化学）、「一部の白物家電は、（海外の）安価品に押されて生産台数が伸び悩んでいる」（その他製造業）など、製造品目により好不調が分かれるといった声も聞かれた。

生産指数の推移やヒアリングなどを踏まえ、生産活動は総じてみれば「弱い動きとなっている」との判断を据え置いた。先行きについては、トランプ政権の通商政策の影響や、自動車など川上の輸出関連企業の動向などについて、引き続き注意が必要とみられる。

なお、外需に関係する貿易面についてみると、7月の茨城県内税関3支署の輸出額は1,652億円、前年同月比33.8％減と12か月連続で前年水準を下回った。鹿島は、化学製品（同12.9％増）が増加したものの、主力の鉄鋼（同51.3％減）の減少が続き同12.6％減、日立（日立港・常陸那珂港）は、建設用・鉱山用機械（同0.5％減）に加え、自動車（同47.0％減）の減少により、同40.8％減であった。

※原数値から季節的要因を調整した数値



設備投資は持ち直している、住宅投資は弱めの動き、公共投資は持ち直している

民間設備投資についてみると、7月の建築物着工床面積（民間非居住用）は、工場や倉庫の減少により71千㎡、前年同月比32.9%減と4か月振りに前年水準を下回った。

一方、水戸財務事務所の「法人企業景気予測調査（7-9月期調査、茨城県）」によると、県内企業の25年度の設備投資額※は、全規模・全産業ベースで、前年度比5.2%増（うち製造業が同20.0%減・非製造業が同19.6%増）の見通しとなっている。同調査からは、企業の投資意欲は、業種間で違いが見られるものの全体として底堅く推移しているとみられることから、設備投資は「持ち直している」との判断を据え置いた。

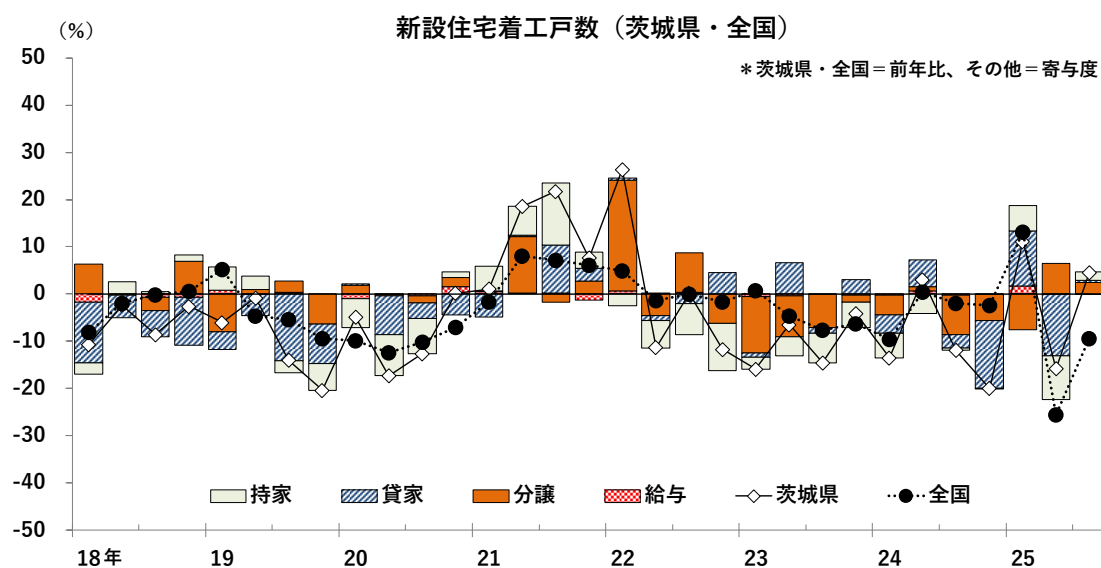
7月の新設住宅着工戸数は1,276戸、前年同月比1.2%減と3か月連続で前年水準を下回った。内訳をみると、持家は665戸、同3.6%増と4か月振りに増加した。貸家は408戸、同17.2%減と4か月連続で減少した。分譲住宅は202戸（うち分譲マンション0戸）、同32.9%増と2か月連続で増加した。

住宅着工戸数（総数）は、建築基準法改正前の駆け込み需要の反動や住宅価格上昇の影響により減少が続いている。もっとも、減少幅は縮小傾向（5月▲39.2%→6月▲18.6%→7月▲1.2%）にあることから、住宅投資は「弱めの動きとなっている」との判断を据え置いた。

8月の公共工事請負金額は303億89百万円、前年同月比24.2%減と2か月連続で前年水準を下回った。内訳をみると、国、独立行政法人等、県、市町村のいずれも減少した。

請負金額は、前年の県等の大型工事の反動もあって2か月連続で減少したものの、基調としては底堅く推移している。25年度の県などの公共投資関連予算は概ね前年度並みで推移する見通しにあることから、公共投資は「持ち直している」との判断を据え置いた。

※ソフトウェアを含む（除く土地投資額）



出所：国土交通省 * 四半期ベース、25年3Qは7月のみの数値

個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している

8月の乗用車販売台数（乗用車新規登録台数＋軽乗用販売台数）は6,087台、前年同月比9.1%減と、2か月連続で前年水準を下回った。内訳は普通乗用車が同9.5%減、小型乗用車が同19.3%減、軽乗用車が同0.7%減であった。自動車販売店へのヒアリング（9月）では、「（7-9月期は）ミニバン等の受注が好調」との声があった一方、新車投入が少ない等の理由で、先行きの販売を懸念する声も聞かれた。

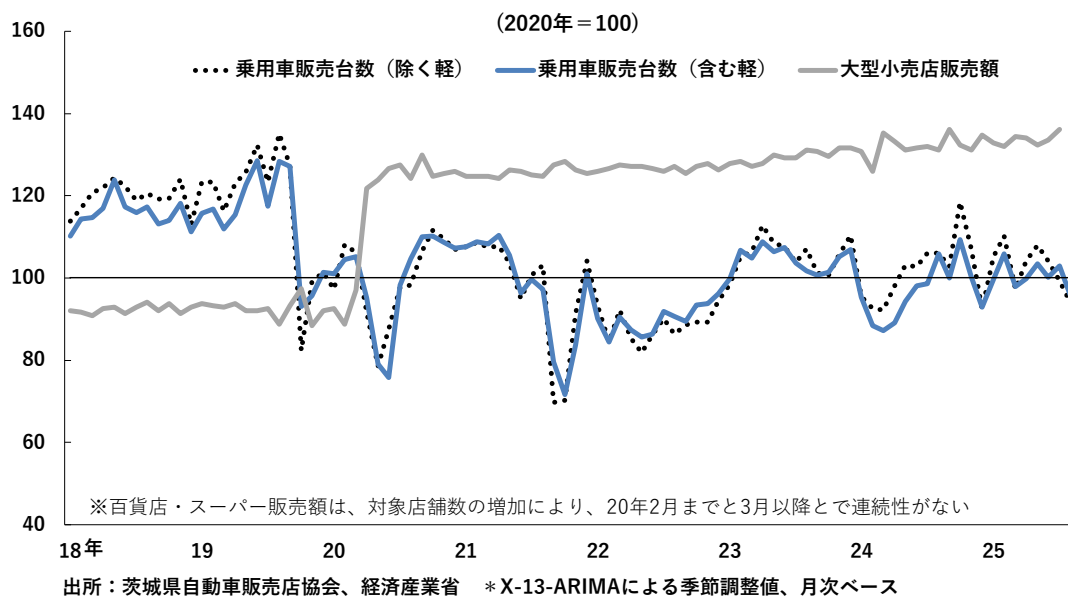
7月の百貨店・スーパー販売額は、全店ベースで前年同月比1.9%増、既存店ベースは同0.7%増と、ともに5か月連続で前年水準を上回った。専門量販店販売額は、家電量販店が同10.5%減と20か月振りに前年水準を下回った。ホームセンターは同3.3%増と2か月連続で前年水準を上回った。ドラッグストアは2.2%増と51か月連続で、コンビニエンスストアも同2.0%増と15か月連続で前年水準を上回った。

7月の家計消費支出（2人以上の勤労者世帯・水戸市）は、自動車購入費や教養娯楽などの増加により、前年同月比27.1%増と、2か月連続で前年水準を上回った。一方、消費マインドに関して、8月の「景気ウォッチャー調査－北関東－」をみると、家計動向関連DI(現状判断)は44.5、前月比1.9pt減と、判断の目安となる50を引続き下回った。

ヒアリング（9月）では、「エアコン等の季節商品（の売上）が前倒しとなり、7-9月（の業績）は軟調。食料品高騰（の影響）もあってか、消費に慎重さが感じられる」（家電量販店）との声が聞かれた。また猛暑の影響により「高齢者の動きが鈍い」（小売店）との声も聞かれた。

このように個人消費は、物価高による消費マインドの低下や猛暑の影響などを受けつつも、供給サイドの販売動向は総じてみれば堅調であることなどから、「一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している」との判断を据え置いた。

乗用車販売台数、百貨店・スーパー販売額



雇用情勢は持ち直している―労働需給は引き続きタイトな状況

7月の雇用関連指標（ハローワークの求人対象）は、有効求人倍率（季節調整値）が1.18倍と、前月と同じであった。新規求人倍率は1.91倍、前月比0.09pt減と3か月振りに低下した。就業地ベースでの有効求人倍率は1.40倍であった。

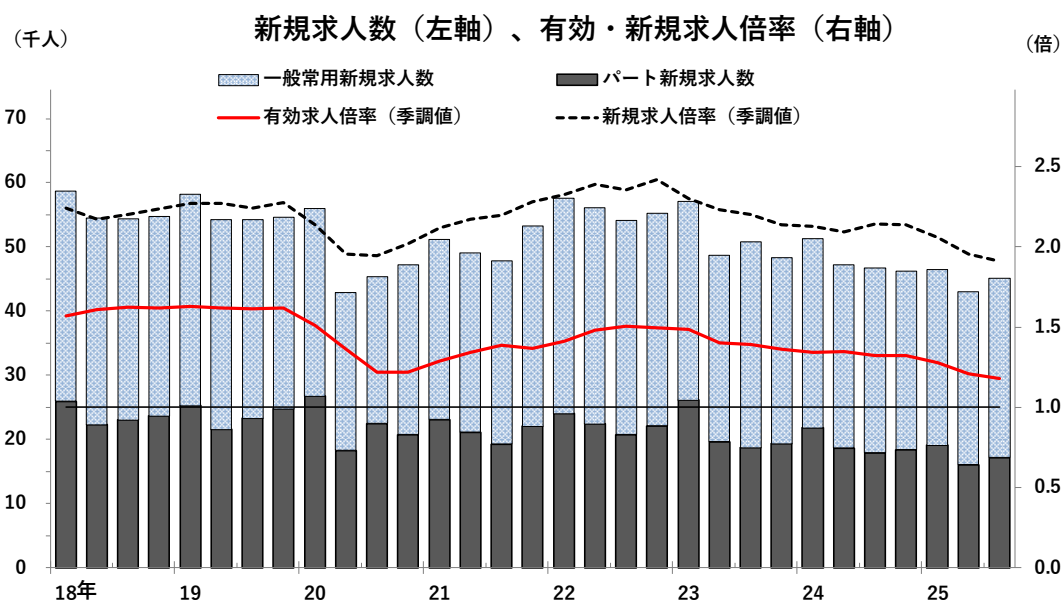
新規求人数は15,633人、前年同月比6.2%減と7か月連続で前年水準を下回った。新規求職者数は7,651人、同1.0%増と2か月連続で前年水準を上回った。新規求人数（パートを除く）の内訳を産業別にみると、学術研究、専門・技術サービス業（同27.0%増）、建設業（6.6%増）、生活関連サービス業・娯楽業（同5.5%増）、製造業（同2.3%増）などが増加し、情報通信業（同27.1%減）、サービス業（他に分類されないもの）（同24.1%減）、教育・学習支援業（同19.8%減）などが減少した。

失業者を示す雇用保険受給者数は10,363人、前年同月比9.4%増と、3か月連続で前年水準を上回った。

一方「法人企業景気予測調査（茨城県）」によると、7-9月期の従業員数判断BSI※は全規模・全産業ベースで33.1%ptと、依然として大幅な「不足気味」超となっている。企業ヒアリング（9月）では、最近の人手不足の状況に関して、これまで同様の「求人に対する応募が少ない」（製造業）といった声に加え、若手人材不足による会社全体の高齢化や、同業者間での専門職獲得競争を挙げる声が複数聞かれた。

このように、雇用情勢は、人手不足を背景に、総じてみれば労働需給がタイトな（引き締まった）状況に大きな変化がないことから、労働者側から見て「持ち直している」との判断を据え置いた。雇用情勢は先行きも改善が続くとみられるものの、最低賃金の大幅な引上げ（10月）が、中小・零細企業の求人にもたらす影響については、注意が必要とみられる。

※「不足気味」-「過剰気味」



出所：厚生労働省 * 四半期ベース、25年3Qは7月のみの数値

茨城県経済動向 基調判断の推移

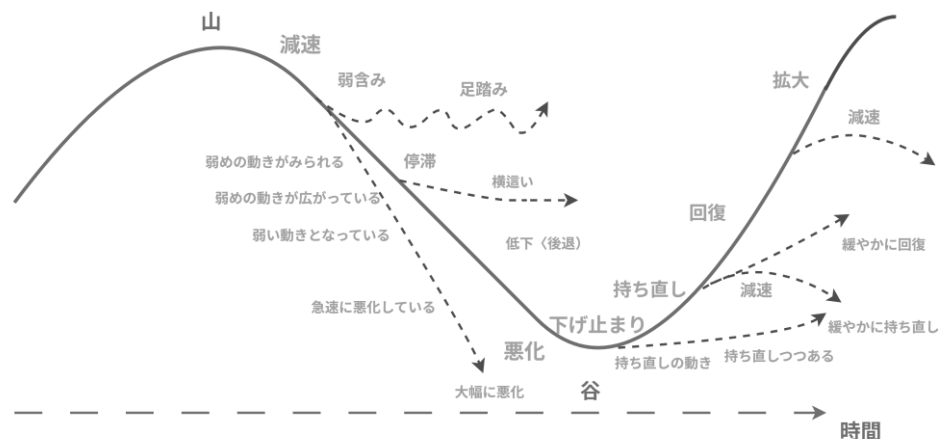
		基調判断
2022	1	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、持ち直しの動きがみられる
	2	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、持ち直しの動きがみられる
	3	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により、持ち直しの動きが一服している
	4	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により、持ち直しの動きが一服している
	5	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	6	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	7	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	8	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	9	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある
	10	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある
	11	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	12	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
2023	1	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	2	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	3	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	4	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	5	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	6	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	7	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直ししている
	8	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直ししている
	9	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直ししている
	10	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直ししている
	11	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直ししている
	12	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直ししている
2024	1	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直ししている
	2	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直ししている
	3	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直ししている
	4	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直ししている
	5	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直ししている
	6	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直ししている
	7	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直ししている
	8	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直ししている
	9	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直ししている
	10	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直ししている
	11	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直ししている
	12	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直ししている
2025	1	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直ししている
	2	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直ししている
	3	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直ししている
	4	県内経済は、総じてみれば持ち直ししているものの、トランプ通商政策により不透明感が強まる
	5	県内経済は、総じてみれば持ち直ししているものの、トランプ通商政策により不透明感が強まる
	6	県内経済は、総じてみれば持ち直ししているものの、トランプ通商政策による不透明感がみられる
	7	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直ししている
	8	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直ししている
	9	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直ししている

各指標の動向判断の推移

		生産	住宅	設備投資
2024	8	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	9	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	10	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	11	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	12	弱めの動きとなっている	弱含みにある	持ち直している
2025	1	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	2	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	3	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	4	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	5	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	6	弱い動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	7	弱い動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	8	弱い動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	9	弱い動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している

		公共投資	個人消費	雇用
2024	8	持ち直しつつある	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直しの兆しがみられる - 労働需給は引き続きタイトな状況
	9	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直しの兆しがみられる - 労働需給は引き続きタイトな状況
	10	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	11	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	12	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
2025	1	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	2	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	3	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	4	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	5	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	6	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	7	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	8	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	9	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況

基調判断・動向判断の表現方法（イメージ）



「茨城県経済動向」は旧常陽地域研究センター（常陽アーク）が
1969年より継続してまいりました月例調査を、
2019年4月以降、常陽産業研究所が継承・実施しているものです

表紙の通番は常陽アーク時の通番を引き継いでおります

常陽産業研究所

地域研究センター

- ・本資料は、当社が独自に集計・入手しているデータを除き、2025年9月24日現在で公に利用可能な統計指標に基づき作成されています。
- ・公開されている統計指標は、過去に遡及して改訂されることがあります。
- ・統計指標を利用する際は、常に最新の公表資料を参照する必要があります。
- ・本資料は、統計指標とそれに基づく判断が正確であるよう最善を尽くしておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料に示した将来に関する全ての記述は、現時点での判断を示しているに過ぎません。